

編 集 後 記

今日 (11/18/09) 当別は、今年初めての雪景色です。札幌はみぞれです。そろそろ冬到来です。

この半年間で最も大きな出来事といえば、やはり政権交代でしょう。民主党政権が8月に樹立しました。最近では沖縄問題（普天間移設）、予算編成の事業仕分け問題が新聞を賑わしておりますように、鳩山政府は難問題に直面している状況です。時々政権が交代することはマンネリ、奢りなどを最小限にすることができ、国民にとっては良いことだと思いますが、どの政党がやっても大きく変化することはないのが政治のようです。精一杯頑張ってもらいたいものです。

医療大でも今年度から6年生の担任制が行われ、学生一人一人を今まで以上に把握し、国家試験対策をするようになりました。担当する先生方のご苦労は大変なものと思います。うまく機能して国家試験合格率上昇につながればと願っています。

私ごとでは、今年も“無痛無汗症”のシンポジウム（11月21&22日、奥武蔵、埼玉）で講演を行います。私の長年の研究テーマが顔面口腔領域の血管の神経支配であることから、昨年はこれらを中心とした話題を講演しましたが、今年は自律神経機能検査について講演する予定です。できるだけ侵襲のない状態で自律神経の機能検査ができないかという話です。

医療大歯学会雑誌の原書論文の投稿状態はじり貧状態で、この先どのような対策をしていけば良いのかが見えない状態です。そんな中、矯正学分野の佐藤先生らが今号に投稿して下さり、有り難うございます。平成19年度から開始した“最近のトピックス”も皆様のお陰で順調に持続し、多くの先生方に最近の論文の紹介をしていただき感謝しております。学位論文（コース&論博）の要旨も掲載するようになりましたので、より医療大の研究内容の理解ができるものと思っています。誌面の益々の充実を考えています。会員皆様の御協力を宜しく願います。

編集後記 和泉博之 平成21年12月30日

次号（第29巻、第1号）の発行は平成22年6月30日です。

会員各位の投稿原稿募集の締め切りは平成22年3月31日必着と致します。期日厳守の上、ご投稿をお願いします。本誌投稿規定（2009年第28巻、第2号の巻末あるいは歯学部生理学教室のホームページ；<http://www.hoku-iryō-u.ac.jp/~physiol/>）をご参照の上、投稿してください。